

## 令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 中央区立晴海西 小学校

## 1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国語	<p>【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」における「書くこと」において、区内平均を5年生が4.6ポイント、6年生が9.2ポイント下回っている。また、自分の考えを明確にして段落分けをして書く、中心となる語や文を見つけて要約する、に課題が見られる。</p> <p>【10月】</p>
算数・数学	<p>【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」において、4・5・6年生全て、基礎的な問題の平均が区内平均を下回り、特に、「数と計算」の領域において区内平均を下回っている。また、5・6年生においては、データの活用で、5年生が4ポイント、6年生が2ポイント区内平均を下回っている。</p> <p>【10月】</p>
社会	<p>【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」において、5・6年生は「主体的に取り組む態度」は区内平均を下回っている。6年生については、「思考・判断・表現」も区内平均を下回っている。また、地図、人口の変化など、資料を読み取ることや、調べた結果をグラフにまとめることに課題が見られる。</p> <p>【10月】</p>
理科	<p>【4月】磁石の性質、植物のつくり、電気を付けるための条件について正しく説明したり、結果を考察し、因果関係を捉えたりすることに課題が見られる。また、実験方法において、道具の使い方や失敗した要因から、正しい方法を導き出すことに課題が見られる。</p> <p>【10月】</p>
英語	<p>【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」英語の活用について区内平均を3ポイント下回り、「アルファベット」の書き「英作文」については、それぞれ5ポイント・2ポイント区内平均を下回っている。</p> <p>【10月】</p>
体力向上	<p>【4月】・様々な地区から児童が集まったことにより、児童の運動経験の差が顕著である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差が大きく、疲れやすい児童や体の動きがぎこちない児童が少なくない。</li> <li>・体力テストの結果では、投力が低い。</li> </ul> <p>【10月】</p>

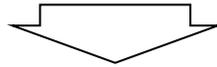
## 2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国語	<p>【4月】授業での言語活動を通して、区の平均を特に下回っている傾向にある話すことや聞くこと、書くことの言語能力を育成する。学力サポートテストでは、各学年で平均点を区平均より+点とし、単元平均から5点以下の単元について2点以上の上昇、3点以下の単元について1点以上の上昇を目指す。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R6年度、要約が苦手な児童が多かったため、要約のポイントを繰り返し指導する。</li> <li>・漢字の書き取りにおいて、朝学習等での継続的な指導を行う。</li> <li>・児童が考えたことを友達に伝えたり聞いたりし、違いを認め合う言語活動を増やす。</li> </ul>
算数・数学	<p>【4月】図形やデータの特徴や傾向を分析したり、問題に対して根拠をもって考察したりできる力を育む。また、自分事として主体的に算数を学習する児童を育成する。学力サポートテストでは、各学年で平均点を区平均より+点とし、単元平均から3点以下の単元について2点以上の上昇、2点以下の単元について平均点以上を目指す。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、図形を動的に変化させる、多量のデータを収集・分析する等の指導を充実していく。</li> <li>・児童が自分事として考えられる問題を提示する、探究的な単元構成とし児童自らが問題解決する等、児童の主体性を促す授業改善を図る。</li> </ul>
社会	<p>【4月】基本的な知識・技能を活かして、地域（晴海、中央区）やそれぞれの土地の課題を見出ししたり、主体的に解決しようとする児童を育成する。学力サポートテストでは、各学年で平均点を区平均より+点とし、単元平均から3点以下の単元について2点以上の上昇、2点以下の単元について平均点以上を目指す。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多角的に考えることができるようにするため、複数の資料から比較したり判断したりする機会を増やす。</li> <li>・生活科や社会科、総合的な学習の時間を通して、強化横断的に地域の様子や伝統文化、先人の働きを学ぶ。</li> </ul>
理科	<p>【4月】自然を活用した学習活動を生かし、生命や地球に関する内容の知識・技能を育てる。児童自らが実験計画や考察を行い、主体的に問題解決しようとする態度を育てる。学力サポートテストでは、各学年で平均点を区平均より+点とし、単元平均以上の単元は1点以上の上昇、平均点以下の単元について3点以上の上昇を目指す。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を活用した学習として、柏、赤城、本栖での宿泊や各校外学習での自然体験、区のプラネタリウムを活用する。</li> <li>・中学年で実験・観察の基礎を重点的に学び、高学年では児童自らが実験を計画するようにする。</li> <li>・考察の時間を10分以上確保し、児童同士の意見交流や全体での検討を充実させる。</li> </ul>
英語	<p>【4月】「読むこと」を中心に知識・技能を身に付け、身に付けた力をすすんで表現する児童を育成する。学力サポートテストでは、平均点を区平均より+2点とし、単元平均の1点以上の上昇、「活用」の単元は3点以上の上昇を目指す。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や単元を基礎・基本を身に付ける一身に付けたことを活用・表現する、という構成にする。</li> <li>・学習した英語を活用する体験を充実させる。(英語専科やALTに対してのプレゼンテーションや日常生活の疑似体験等)</li> </ul>
体力向上	<p>【4月】投力と跳躍力に向上に重点を置き、児童自らが運動や健康に対する目標や課題を立て、すすんで運動に取り組む態度を育てる。体力テストでは、全学年の全ての種目で昨年度数値よりの上昇、区平均以下の種目は、区平均以上になることを目指す。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝運動の時間を設け、継続的になわとびに取り組む。</li> <li>・体育の授業において、各運動の技能ポイントやコツを十分に指導する時間を10分以上設ける。</li> </ul>

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライシード（ドリルパーク）等で児童各々の進度や到達度を把握し、個別に課題を出したり、指導方法を工夫したりする。</li> <li>・1単位時間の学習の流れを個別→ペア（グループ）→全体とし、一人一人の考えのよさを共有したり、異なる考えを組み合わせたりする。</li> </ul>

探究的な学びの充実	
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科、領域で課題解決的な学習及び既習事項の活用を行いながら、児童が課題を的確に捉え、解決に向けた手段や自ら計画を立てられる単元構成にする。</li> <li>・生活科や総合的な学習の時間の「まとめ・表現」を国語科の学習内容と系統付けて学習を計画する。</li> </ul>

読解力の育成	
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回、10分間の朝読書の時間を設け、読書に親しめるようにする。</li> <li>・「Ymokka」を導入し、多様な種類の本に親しめるようにすることで、多くの言葉や表現に触れる機会を増やす。</li> <li>・国語科の物語文や説明文等の学習過程を習得→活用→探究とする。習得で教科書の読み取りを十分に行い、活用で共通の図書資料の読み取った内容を共有する時間を設け、読解力を育成する。</li> </ul>



### 3 取組結果の検証

	令和7年度の取組の成果	令和7年度の取組の課題と解決策
国語		
算数・数学		
社会		
理科		

英 語		
体力向上		

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
成果と課題	

探究的な学びの充実	
成果と課題	

読解力の育成	
成果と課題	